

京北病院が果たす機能の在り方検討に関する御意見について

第1回検討会や周知チラシ「京北病院 地域とともに」を通して、在り方検討に関する御意見を頂戴しました。いただいた御意見に対する本市の考え方を以下のとおり取りまとめました。この場をお借りして、御意見をお寄せいただいた皆様に御礼申し上げます。

1 御意見提出方法

第1回検討会	F A X	メール	電話	京北病院
1	7			1

計9件

2 御意見と本市の考え方

No	意見の要旨	本市の考え方
1	京北地域で誰もが安心して暮らしていくための最低の保障としての京北病院が大事ではないか。	京北地域へ安心・安全な医療を今後も提供していけるよう、検討を進めてまいります。
1	地域の仕事おこし、若い人が就労する場をもっと作っていくことが必要。Iターン、Uターンの人も増えているので、さらに加速するように行政のバックアップを望む。	第1回検討会において、京北病院も、京北地域の働く場所の一つと考えることができるとの御意見がありました。また、京北出張所内に開設している「北部山間移住相談コーナー」を中心に、移住希望者からの相談対応や地域の情報発信に、引き続き取り組んでまいります。
2	より充実する方向でなら賛成するが、縮小を前提にした検討ならやめてほしい。	大前提として、「京北地域への安心・安全な医療の提供」と、「京北病院の持続可能な運営」の両立を目指し、検討を進めています。今後の方向性については、予断をもって検討を進めているものではなく、廃止や診療所への転換ありきの検討ではありません。
2	最低でも現状維持してほしい。火事がないから消防署をなくすのかということ。必要なものは儲からなくても残すべき。 安心して住める地域のために京北病院は必要。経営だけで判断しては困る。	京北病院が事業の経営に伴う収入をもって充てることのできないへき地医療や救急医療等については、本市が財政負担し、安定的に経営できるよう本市も支援しています。経営状況だけで判断するものではなく、医療ニーズ等を調査・分析のうえ、京北地域に必要な医療を提供できるよう、検討を進めてまいります。

No	意見の要旨	本市の考え方
2	今は市中心部へ通院している人もやがては京北病院にお世話になる。公共交通の不便な地域のための取組が必要。	京北病院では患者送迎サービスを行っており、京北病院へのアクセス確保に取り組んでいます。引き続き、皆様により便利に御利用いただけるよう検討してまいります。
3	各部落に診療所はあるが、入院施設はない。入院せねばならない大きなけがや病気の時には、地域内での入院はとてありがたく家族も世話がしやすい。市内までは行けない。	京北病院では初期救急医療をはじめ、身近なかかりつけ医として、積極的に受け入れを行っています。高度な医療を必要とする場合には、市立病院をはじめ市内中心部の高度急性期病院を案内しています。市立病院へは患者送迎便を運行していますので、御利用ください。
3	病院があることが安心。なければ困る。人口が少ないのだから仕方ない。	「京北地域への安心・安全な医療の提供」と、「京北病院の持続可能な運営」の両立を目指し、検討を進めてまいります。
4	現検討会のメンバーは従来どおりで、机上の空論、理想論で終わってしまいそう。慢性疾患で2～3時間の会議に耐えられる患者、老人クラブ、中年層代表を参入させてはどうか。自治振興会は医療行政が分かるのか。医師会は医師派遣をどれだけ真剣に考えてくれるか。	検討会の委員には、地元関係者や医療・介護関係者、学識者等、各分野の専門家に御参画いただいております。専門的な視点から御意見を頂戴しています。また地域の皆様に検討状況をお知らせするため、周知チラシ「京北病院 地域とともに」を発行し、どなたからでも御意見をいただけるようにしています。
4	病床数を診療所ベースに減らしても、地域医療を充実させている過疎地域はいくらでもある。それらの運営例等も参考にすべき。京北病院はこうあるべきという画を描き、それを達成させるために、何をすべきかの検討が必要。	「京北地域への安心・安全な医療の提供」をできるよう、他都市の事例も参考にしながら、検討を進めてまいります。
4	高齢者、弱者が多い中で、何故利用者が減るのか。どれだけ中部総合医療センターや明治国際医療大学附属病院に流れているか一番のネックである。何故減るのかをもっと掘り下げて検討してほしい。 病気だけを診る医師（小医）は必要ない。人・患者その上で病気を診る医師（大医）が常設されれば、患者は戻ってくるはず。	京北病院は、地域の医療ニーズのうち、入院20%、外来30%を受け入れていますが、入院・外来の双方において京北病院以外の病院への受診が増加している現状にあります。 地域の皆様にもっと京北病院を御利用いただけるよう、そのためには何が必要かを十分検討し、より一層愛される京北病院を目指してまいりますので、皆様の御協力をお願いします。

No	意見の要旨	本市の考え方
4	スタッフの方の患者への接し方に差がありすぎる。	いただいた御意見をスタッフの教育や研修に活かし、質の高いサービスを提供することで、安心して御利用いただける病院を目指して今後も努力してまいります。
4	給食を受け持つ責任者は地域の食習慣を把握してほしい。基準給食での摂取基準は大切だが、残飯が多ければ意味ない。	地域の食文化を尊重し、患者様が親しみを感じられるメニューを提供することは、食事を通じての満足感に繋がると思っていますので、今後も患者様や地域の方々の声を反映させながら、地域の特性を考慮した栄養バランスの取れたメニューを提供できるよう、努めてまいります。
5	緩和ケアや終末ケアを充実させて、安心して終末を迎えられるようにしていただければ、近隣の町からも来院者が増えると思う。	近隣の皆様にも京北病院を御利用いただけるよう、そのためには何が必要かを十分検討し、より一層愛される京北病院を目指してまいります。
5	痛みの緩和をしたり、体調を改善する鍼灸やマッサージの部門を開設していただきたい。	鍼灸やマッサージの部門の開設についての検討は予定していません。京北病院にどのような機能が必要かを十分検討し、より一層愛される京北病院を目指してまいります。
6	近所のかかりつけ医を聞かれると、京北病院と答えている。最低、現状を維持してほしい。かかりつけ医は京北病院しかない。	今後も京北病院は、初期救急医療をはじめ、身近なかかりつけ医としての役割を果たしてまいります。
6	介護老人保健施設にとって、病院の中にあることは何より安心。なくてはならない存在。	介護老人保健施設や、地域の介護施設とも連携を図りつつ、今後の在り方を検討してまいります。
6	あと5年もすれば免許証返納も考えざるを得ない。病院の送迎車はありがたい。	京北病院では、患者送迎便を毎日運行し、京北病院へのアクセス確保に取り組んでいます。是非御利用ください。
7	家族や送迎車の支援を借りないことには通院できない高齢者にとって、身近に病院がほしい。近年の自然災害等を思うと、道路事情が生じてても必要な時に利用できることが、患者と介護施設の強い願いである。	今後も引き続き初期救急医療をはじめ、身近なかかりつけ医として、京北病院で対応できる場合は、積極的に受け入れを行ってまいります。
7	日常生活上生じがちな処置にいつでも対応してもらえるよう、基本的な施設・設備の整った診療科の存続を望む。重症の場合の市立病院や希望病院に繋ぐ等々の迅速な連携対応を、今後も残してほしい。	「京北地域への安心・安全な医療」を今後も提供していけるよう、検討を進めてまいります。

No	意見の要旨	本市の考え方
7	たとえ人口減少と高齢化が進んでも、この地で生活せざるを得ない住民の命は、他地域の人々と同様。安心できる医療環境存続の下での暮らしを願う。	「京北地域への安心・安全な医療」を今後も提供していけるよう、検討を進めてまいります。
8	健康診断を全面的に引き受けてほしい。保健所の役割を果たしてほしい。胃カメラ診療してほしい。	現在、人間ドック施設等の設置は検討しておりませんが、個別に特定健康診査や就労時健康診断は受け付けしております。また、胃カメラなどの内視鏡検査は市立病院との患者送迎便を活用して、専門医による検査が実施できる体制を整備しております。引き続き、京北病院にどのような機能が必要かを十分検討し、「京北地域への安心・安全な医療」を提供していけるよう、検討を進めてまいります。
8	耳鼻科が必要。終末期医療施設も必要。	現在、緩和ケア病棟の設置は検討しておりませんが、終末期医療や看取りについては、患者さん・ご家族の意向を尊重したうえで最後までお支えできるように訪問診療や訪問看護などを通じて専門職が支援しております。また、耳鼻いんこう科については、必要時には市立病院との患者送迎便を活用して、専門医が受診できる体制を整備しております。引き続き、京北病院にどのような機能が必要かを十分検討し、「京北地域への安心・安全な医療」を今後も提供していけるよう、検討を進めてまいります。
9	人の命に関わる病院運営の問題。我が家としても大問題。京都市は向日市、長岡京市と比べて人口が多く、高齢社会に非常に希薄。京北病院は高齢者の医療・介護サービスの拠点として、京北の発展のアピールポイントとして非常に重要。この素晴らしい京都の代表地域としての将来を考え、病院の存在は不可欠。	「京北地域への安心・安全な医療」を今後も提供していけるよう、検討を進めてまいります。
9	規模を縮小すれば地域の人口が減り、移住する方も不安。地域を活性化する要素は沢山あり、四季を通して観光地化していると思うほどの人の動きがあるので、行政の計画を早急に望む。マイナス面を追求するのではなく、若い子育て世代が増す行動が必要。机上の空論で終わらせることなく進める必要がある。	京北病院については、「京北地域への安心・安全な医療」を今後も提供していけるよう、検討を進めてまいります。

No	意見の要旨	本市の考え方
9	移住するかの不安は病院。急な診察を要する時、診てもらえる診療科が曜日が決まっているため、以前の病院まで車を走らせている。いつでも安心して診てもらえると利用も増すのではないかと。先生方の負担も多いし、へき地手当の増加も大いに必要。誰もが行きやすく、交流の場ではないが、病院に行けば安心して何かがある（できる）場を考えられないか。	医師の確保等の課題がある中で、市立病院への患者送迎便の活用など市立病院との連携強化を通じて、京北地域のニーズに合わせた医療サービスを提供できるよう取り組んでまいります。また、地域の皆様に安心して御利用いただき、より一層愛される京北病院を目指してまいります。
9	院長が変わられ、院内の掲示物が医療への積極性を感じるものが増加したと思う。リハビリの先生方の治療のお陰で、心身ともに健康に過ごせており、ありがたい。院長先生を核として前向きな活動が増すことを期待している。	「京北地域への安心・安全な医療」を今後も提供し、より一層愛される京北病院を目指してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。
9	病院の発展を大いに期待している。付き添いの時間にできることがあれば良い。	付き添いに来られた皆様にも有意義な時間をお過ごしいただけるような取組を考えてまいります。